

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2015 助成の概要と推薦理由

助成番号 15-2-1

プロジェクト名 医療的ケアの必要な子どもたちの可能性は無限大  
～地域啓発に向けた広報ツールの作成と活用(2)～  
団体名 バクバクの会  
代表者名 大塚 孝司  
所在地 大阪府  
助成額 200万円  
助成期間 2016年9月1日～2017年8月31日  
設立年 1989年  
U R L <http://www.bakubaku.org/>



この団体は人工呼吸器、もしくは同程度のケアを必要としている子どもたちが入院生活や在宅生活を豊かに過ごすことができるよう、相談・支援業務や情報提供、また全国ネットワーク組織としての強みを活かしながら社会的理解を促進するための啓発活動に取り組んでいる。

医療的ケアの必要な子どもたちは、退院しても地域社会とつながるきっかけがなく、孤立している親子も多い。しかし適切な社会的支援を受けることで、地域の子どもたちと同じように保育園や学校に通い、豊かな経験を積み重ねながら、毎日の生活を育むことができる。

1年目の助成では、人工呼吸器をつけながら、親の付き添いなしに保育園や学校に通っている子どもたちや、一人暮らしをしながら自立した生活を送っているケースを紹介するDVDを作成した。このDVDは、人工呼吸器を使用してもひとりの人間としての尊厳を保つことの大切さと地域支援の在り様を伝えている。サポートを躊躇している人々が支援の一步を踏み出すきっかけとなり、また当事者自らも地域で生活することに希望を持てるような内容である。

今回の助成では、作成したDVDをツールとして、各支部が中心となり地域で上映会を開催する。上映会を通して新たな支援者や賛同者の獲得に努めると共に、支部の活性化を目指す。

本助成を通じて、地域ごとに当事者以外のキーパーソンを巻き込み、DVD上映後は地域に根付いた活動を展開していくことを期待したい。

また潜在的に孤立している当事者親子を掘り起こし、医療的ケアの必要な子どもたちが地域で安心して過ごすことができるよう、各支部の支援体制が強化されることを期待して助成する。